



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 研究室報  |
| Citation         | 独語独文学科研究年報, 18, 45-47   |
| Issue Date       | 1992-01   |
| Doc URL          | <a href="https://hdl.handle.net/2115/25845">https://hdl.handle.net/2115/25845</a> |
| Type             | other   |
| File Information | 18_P45-47.pdf   |



# 研 究 室 報

## 1990年度論文題目

### 卒業論文

- 一 瀬 幸 司： 日・独語の「未来」の表現について
- 嶋 崎 純 子： メルヘンから児童文学へ — 沈下した大人の文学 —
- 松 岡 圭一郎： 理解されるブレヒト演劇 — 劇解釈に際しての諸要因

### 修士論文

- 小 川 了： フランツ・カフカのことば — 判断留保のしくみ —

## 北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため下記の事業を行なう。
  - 1) 機関誌「独語独文学科研究年報」を毎年1回発行する。
  - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会員は北海道大学文学部独語・独文学研究室の教官・院生（学生も含む）ならびにその趣旨に賛同する者によって構成される。

本会員は上の活動の遂行のため所定の会費を支払う。

本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。

本会の事務所は北海道大学文学部独語独文学研究室におく。

本会に賛助会員をおく。

## 研究室行事記録

◎1991年2月16日に北海道大学文学部301号室において1990年度卒業論文・修士論文発表会が開かれた。

◎1991年には文学部で下記の研究会がもたれた。

・5月11日

荻原達夫「中間構文の派生について」(1)

・6月22日

田中 慎「フォークスとトピック」

・7月24日

荻原達夫「中間構文の派生について」(2)

塩谷幸子「ゼロ・カウンターとしての省略」

・9月21日

荻原達夫「派生と表示の研究」

◎1991年11月16、17日に北海道独文学会とGoethe-Institut Tokyoの共催で旧東独についてのゼミナールが北海道大学言語文化部において開催された。

### 〈研究発表〉

◎下記の学会で会員の発表が行なわれた。

・北海道ドイツ文学会第32回研究発表会（1990年12月15日、北海道大学文学部）

藤本純子「ある『ドイツ語教師』の悩み」

・北海道ドイツ文学会第33回研究発表会（1991年7月13日、小樽商科大学）

田中 慎「フォークスとトピック — ドイツ語の場合 —」

### 〈会員動向〉

◎1991年8月に中川勝昭氏がミュンヘン大学から留学を終え帰国した。

◎1991年9月に塩谷幸子氏がミュンヘン大学へ留学のため出発した。

## 講義題目 (1991年度)

### 学 部 (学部・大学院共通を含む)

|        |   |                 |
|--------|---|-----------------|
| 独語学概論  |   | 植 木 迪 子         |
| 独文学史概説 |   | 青 柳 謙 二         |
| 独 語 学  | 独語学の基本  | 植 木 迪 子         |
| 独 語 学  | オランダ語とドイツ語  | 清 水 誠           |
| 独 語 学  | ドイツ語史   | 清 水 誠           |
| 独 語 学  | 文法論とコンピューター   | 松 村 保 寿         |
| 独 語 学  | Deutsche Alltagskultur                                | Franz Schneider |
| 独 文 学  | 近代ドイツ叙情詩の変遷   | 新 妻 篤           |
| 独 文 学  | Joseph Roth   | Barbara Wiegele |
| 独 文 学  | Seminar zur Wortbildung                               | Michael Haas    |
| 独 文 学  | テキスト読解の訓練   | 石 原 次 郎         |
| 独 文 学  | テキスト読解の基礎   | 石 原 次 郎         |
| 独 文 学  | ダダのベルリン   | 平 井 正           |
| 独語学演習  | 北欧語学演習  | 清 水 誠           |
| 独語学演習  | Gegenwartsdeutsch                                     | Franz Schneider |
| 独語学演習  | Einige moderne Erzählungen und deren Interpretationen | 青 柳 謙 二         |

### 大学院

|       |  |                 |
|-------|--|-----------------|
| 独語学演習 | 機能文法研究   | 植 木 迪 子         |
| 独文学演習 | Methodenprobleme der deutschen Literaturwissenschaft | 青 柳 謙 二         |
| 独文学演習 | Hohendahl: Geschichte der deutschen Literaturkritik  | 石 原 次 郎         |
| 独文学演習 | Neues Bewußtsein — Vernetztes Denken                 | Franz Schneider |
| 独文学演習 | Sozial- und Wirtschaftsstruktur Deutschlands         | Franz Schneider |